

第4回行政支出点検・行政改革推進委員会 における欠席委員からの御意見

<岡田 新一 委員>

- 1 新たな「山形県行財政改革推進プラン」骨子（案）について、全体的に、この間の委員会のなかで、申し上げた内容が概ね取り入れられた内容として、評価します。
- 2 今、重要なことは、骨子（案）の第1章「本県の行財政改革に係る基本認識」に記載のとおり、少子化を伴う急速な人口減少という状況のなかで、地域経済と雇用、大都市圏と地域の格差問題、医療・福祉、地域コミュニティなど本県に深刻な影響をもたらし、今後さらに影響を与えることが懸念されます。こうした懸念される課題を如何に克服していくかであります。
- 3 こうした、課題に対する的確に対応していくには、これまでの行政改革で取り組んだ「量」的改革の成果を踏まえつつ、「質」をより一層向上させる改革を進め、県民総参加での質の高い県民サービスの提供をめざすことが大事です。
- 4 とりわけ、地域経済と雇用、中小企業の活性化、大都市圏と地域の格差解消を図るべき第3次県総合発展計画など「やまがた創生」の具体化による持続可能な山形県を創ることであります。
- 5 そのために、骨子（案）に盛り込まれている、県民参加、県民視点、自主性・自立性の高い県政運営など行革プランを確実に実行していくことです。